



代々の家も、初めての家も、 世代でバトンが引き継げる制度設計

「これからも・これからは、中央区で」と認識して頂けるまちづくり

日本は戦後まもなくから高度成長期を経て現在に至るまで、それまで培ってきた「代々の家」を捨て都会に移り住み新しい家庭を築いてきました。

それは豊かで快適な生活を生み出した反面、残された世代による「高齢者の町」や「シャッター通り」など次の世代に上手く引き継ぐことなく、疲弊した街も生み出してしまいました。そのような流れのなか、おかげさまで中央区は、多くの家が代々受け継がれるバトンを現在までつないできました。

私は、中央区で生まれ育った者の一人として、そのルーの中間走者の役割を果たすべく、住みつづけられる街をつくりま

また、ご自分の世代から中央区に住まわれた方には子・孫・そのまた子孫に至るまで、次の世代にしっかりとバトンが引き継げる街づくりを実現します。具体的には、まず、三世代が同居・近居される場合に、固定資産税などの税制上の軽減措置を創設できるよう、推進していきます。みなさまにはぜひとも中央区に末永く住んで頂き、「これからも・これからは、中央区で」とみなさまに認識して頂けるような街づくりを目指します。

なお、平成27年度税制改正要望で「三世代同居・近居に係る税制上の所得税軽減措置」が議論されましたが、残念ながら創設には至りませんでした。私は中央区の将来のために、今後も要望を続けます。



私には政策があります

詳しくは

<http://miharashi-yoshi.jp>